



内 容

学期 月	題材名	学習活動・指導のねらい	
1 学 期	4	オリエンテーション	・音楽の授業の目標、内容、評価、授業の約束などを知る。
	5	○歌声あわせて	・中学生としての自覚を持ち、明るく伸びやかな歌唱表現をする。
	6	○詩の心、音楽の表現	・主体的に合唱練習に取り組む姿勢を育てる。
	7		・表現の技能を身につける。 ・ビバルディやシューベルトの音楽や合奏協奏曲やリートについて理解する。 ・歌詞の内容や曲想を味わい、曲想から情景を想像する。
2 学 期	9	○合唱のよろこび	・合唱祭に向け、主体的に練習に取り組む、混声三部合唱を歌い上げる喜びを味わう。
	10		・自分たちの学級にふさわしい曲を選択し、曲想を生かした表現をする。
	11		・全体の中で自分の役割を自覚し、全体の響きに気をつけて歌唱表現をする。
	12	○音楽の表現（器楽） ○日本の音楽（歌唱）	・アルトリコーダーを演奏し、楽器で合わせることの楽しさを味わう。 ・歌詞を理解し、言葉と大切に歌う。
3 学 期	1	○日本の音楽（箏） ○詩に心を託して	・我が国の伝統音楽である箏に直接触れ、音や楽器に興味・関心を持つと共に、積極的に関わっていかうとする態度を育てる。
	2		・自分たちの1年間の歩みや卒業生への感謝の気持ちを音楽で表現する。
	3		

歌唱 本校の歌唱活動は、混声合唱が中心になります。第1学年では、「変声期」を迎える生徒が多く、「声が出にくい」「思うような声が出ない」などが出てきます。しかし、声が出しやすい部分で、音楽の流れに乗って音楽を展開し、楽しむ気持ちが大切です。

言葉と旋律の特徴を生かした歌唱表現の工夫を重点に授業を進めます。

鑑賞 第1学年では、情景や詩をもとに想像豊かに音楽を鑑賞します。音楽とその背景となる文化や歴史などとかかわらせて聴くことができるとより楽しいものになります。

< 評価の観点 >

- ① 音楽への関心・意欲・態度・・・音楽に親しみ、音楽を進んで表現し鑑賞しようとする。
 - ・授業に意欲的に参加していますか（授業態度など）
 - ・曲の特徴に関心を持ちましたか（授業態度、発表など）
 - ・歌うことに興味を持ち、進んで合唱していますか（授業態度など）
- ② 音楽的な感受性・表現の工夫・・・音や音楽のよさや美しさを感じ取り、それらを音楽活動の中で創意工夫し、生かすことができる。
 - ・歌詞をよく読み、言葉の内容を理解していますか。（実技）
 - ・言葉の表現に気をつけて歌うことができますか。（実技、授業の活動）
 - ・速度、強弱の働きによる曲想の変化を表現できますか（実技）
- ③ 表現の技能・・・音楽を表現するための基礎的な技能を身に付いている。
 - ・旋律、リズムを正しく歌うことができますか。（実技、授業の活動）
 - ・曲にふさわしい速度や強弱をつけて演奏するすることができますか。
 - ・腹式呼吸と美しい発声が身に付いていますか。
- ④ 鑑賞の能力・・・音楽を楽しく聴取、鑑賞し、そのよさや美しさを味わう。
 - ・作曲者の時代背景を考えることができる。（鑑賞プリント）
 - ・速度や強弱の働きによる曲想の変化を感じ取ることができますか。（鑑賞プリント）
 - ・どのような楽器で演奏されたか、聴き取ることができましたか。（テスト）
 - ・曲全体のイメージを感じて聴くことができましたか。（鑑賞プリント）



< 評価の方法 >

- ・毎時間の授業への取組、表現の工夫・努力、鑑賞プリント、実技テストや定期テストなどを基にして総合的に評価する。授業中の学習活動を通じた観察を大切にします。

授業中

- ① 授業の準備をしっかりする。合唱活動、鑑賞に進んで取り組む。授業の約束を守る。
- ② 目的と意欲をもって授業に臨む。学ぶべきところを学び、高めるところ、磨くところに積極的に取り組む。
- ③ 音と音とのかかわりを感じながら、聴き合って取り組む。



- ◎ 音楽は、人の心を表現したり、人と人との心をつないだりすることができるものです。一人一人が自分なりの表情をつけて、楽しく歌えるようになってうれしいものです。